



— 学校目標 —

「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」

— 目指す生徒像 —

- 【知】夢の実現や目標の達成に向け、自ら進んで粘り強く学び続ける生徒
- 【徳】人それぞれの多様性を認め、心豊かで思いやりのある生徒
- 【体】心身ともにたくましい生徒

— 目指す教師像 —

- 1 生徒一人一人を尊重し、共感的に理解して大切にしている教師
- 2 絶えず研究研修に努め、お互いに連携し支え合うチームワークの良い教師集団
- 3 保護者とよく連携し、相互理解に努める教師

～ 多様性を認め合える、穏やかな教育環境づくり ～ 経営方針8本の柱

(1) 特別支援教育の推進

- ①生徒一人一人を大切にしている教育(支援)は、教育の原点特別支援教育を全校体制で推進する
- ②ユニバーサルデザインの視点を活かした授業、教室環境づくりに努める

(2) 人生を拓く「確かな学力」の育成を目指す

- ①ICT等を活用し「わかる」「できる」が実感できる「授業づくり」を研究する
- ②アクティブラーニングを取り入れ、主体的な深い学びが得られるような工夫をする
- ③学校や学級に不応を示す生徒への適応指導のための支援を強化する
- ④困り感を抱え、さまざまな個性を持つ生徒をよく理解し、温かく支援する
- ⑤図書館活用、新聞活用を充実させ、読解力を高め、人格的成長を支援する
- ⑥家庭学習の充実を図る

(3) 思いやりのある「豊かな心」の育成を目指す

- ①真心のこもった挨拶、返事ができる生徒を育てる
- ②いつでも、誰とでも交流でき、明るく笑顔の絶えない生徒を育てる
- ③思いやりのある美しい日本語を場にに応じて使うことのできる生徒を育てる
- ④全教育活動の中で道徳教育を推進し、特に要である「道徳の時間」を充実させる

(4) 活力にあふれる「健やかな体」の育成を目指す

- ①包括的な健康・安全教育に生徒主体で取り組み、心と学習の環境づくりを進める

- ②学校と家庭が一体となって、規則正しい生活習慣を身に付けさせる。
- ③実効性のある防災訓練を実施し、防災意識を高める
- ④いじめ・暴力行為を見逃さず、学校事故の縮減を図る

(5) 地域と共に歩む開かれた学校づくりを目指す

- ①家庭・学校・地域のつながりを大切に、相互に連携協力して一体感のある教育を進める
- ②登下校や学校における事故・災害のゼロを目指す
- ③積極的かつ適切な情報発信と学校公開の充実を図る
- ④学校への声や要望を大切に、迅速に対応する

(6) 自己の生き方や進路を考える力の育成を目指す

- ①体験活動、ボランティア活動を通じ、望ましい勤労観、職業観を育成する
- ②一人ひとりの夢や希望の実現を支援する
- ③キャリア教育の教育課程への位置付けを工夫する

(7) 義務教育9年間を見通した教育活動の展開を目指す

- ①学校や地域を誇りに思える児童生徒を育成する
- ②四中ブロック小学校・中学校連携活動を推進する

(8) 業務の適正化を図る

- ①生徒たちと向き合う時間を確保し、誇りとやりがいの持てる職場環境を確保するために、教員が携わってきた従来の業務を不断に見直す
- ②勤務時間を意識した働き方改革を推進し、ワークライフバランスの構築を図る
- ③部活動の改革を進めながら、生徒に達成感を持たせる方法を工夫する